

2020年5月18日

生徒ならびに保護者の皆様

松蔭中学校・高等学校

校長 浅井宣光

休校期間中の登校日、およびその後の授業開始について

緊急事態宣言が継続中ですが、去る15日、兵庫県より、本日以降の登校日設定も可能との通知を受けました。県内および近隣府県での感染者数は減少していますが、メディアは「中だるみ」の警戒を報じています。あらためて感染症を予防する行動について、確認したいと思います。

先週末、今後の学校運営について検討した結果、本日以降、感染が再び拡大する兆候がなければ、下記のように登校日を設けるとともに、6月から段階的に分散登校による授業を行う予定で準備することになりました。

今後の登校日や授業開始にあたっては、一人で家を出て行動する時間帯が多くなります。また、登校後の校内や教室では、人との接触が増えます。生徒が家を出て保護者のもとを離れた後には、単独で行動するにしろ友人と行動するにしろ感染予防の意識を持ち、その場に応じた判断ができ、適切に実行する必要があります。その心構えをしておく期間として、これからの1週間をとらえていただきたく存じます。学校では、一人ひとりが、自分自身と家族を守る意識と行動の徹底をはかりたいと考えています。ご家庭においても、機会があるごとにお話し合いいただきますよう、ご協力をお願いいたします。

来週の登校日は、衣替えて真白な夏服を着用します。心が弾み浮き立つ生徒の皆さんの姿を想像しています。一方で、不安も小さくないのではないかと思います。皆がマスクを着用し、表情を確かめにくいなか新しい教室に入るのですから、その瞬間の緊張は計り知れないことでしょう。ふだんの学校ならば、教室で同じ空気を吸い、会話を交わしているうちに、何となく相手と「心のふれあい」ができ、友が増えていきます。人は、物理的な距離を縮めながら信頼関係を築きあげます。これが人間関係の根本です。

では、Social Distancing（ソーシャルデスタンシング＝人との対面時に距離を1メートル以上開けること）が求められ、表情が分かりづらいこれからの学校は、どのようになるのでしょうか。ポイントは、私たちの一人ひとりが、たがいの心の「つながり」を信じる気持ちにあると思うのです。入学式でお話したように、クリスチャンであろうとなかろうと、神様は、学校生活を送るうえで最もふさわしい場所、能力を最大限に発揮できる場所として、松蔭に生徒の皆さんを導きました。皆同じように導かれたのですから、出会い、松蔭生として「つながること」も、すでに決まっていたのです。あとは、私たち自身がその「つながり」を信じることです。スクールモットー”OPEN HEART, OPEN MIND”の本領発揮とばかり、勇気をもって登校して教室に入り、出会うクラスメートと、目と目で挨拶を交わしましょう。松蔭生どうしの「心のつながり」を信じるたがいの気持ちが、時間の経過とともに「心のふれあい」を生み、温かい友情の芽を育むよう願っています。

記

○休校期間については、5月31日までで変更はありません。

○登校日については、5月26日～29日の期間、学年ごとに出席番号の奇数と偶数に分かれて、分散及び時差による登校とします。登校日、登校時間の詳細は、ホームページ「各学年からのお知らせ」に掲載されている『5月26日～29日の登校日、登校時間について』、またはメルポコ（第13報）でご確認ください。

○登下校時にも、校内でもマスクを正しく着用し、出来るだけ人との距離を保つこと、手洗いの励行と顔や頭髮に触れることを出来るだけ避けてください。本人の体調がよくない場合や、ご家族で体調不良や風邪症状がある方、感染の疑いがある方がおられる場合には、登校を控えてください。また、通学に不安を感じる場合も、登校を控えてください。いずれも欠席の扱いとはなりません。学校への欠席連絡（当日午前9時以降）をお忘れなくお願いします。

○保護者が自家用車を使用して送迎をしていただいても差し支えありませんが、校内には駐車場を準備できません。近隣の駐車場をご利用ください。

○現時点では、休校期間終了後の6月1日からの授業を、登校日同様の分散登校により、密集を避けて実施する予定です。詳細については、生徒登校日に連絡します。また、メルポコおよびホームページでお知らせします。

以 上